

## 04.2.14 説明会議事録

## 梅田貨物駅の百済貨物駅への移転計画（案）について

日 時：平成 16 年 2 月 14 日（土） 18：30～21：00 機構による説明  
21：10～22：10 地域住民による説明

場 所：育和小学校 講堂

主催者：独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

出席者：鉄道建設・運輸施設整備支援機構 6名  
大阪市計画調整局 3名  
育和地域住民 約400名（市議員1名含む）

次 第：1．梅田貨物駅の百済貨物駅への移転計画（案）の説明  
2．質疑応答  
----- 機構・大阪市退席 -----  
3．育和地域住民による説明

## 議事内容

発言の前の【 】書きについては以下の通り。

【市】：大阪市計画調整局

【機構】：独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
住民については発言者の【町会・氏名】を記載

お願い お名前が分からない方のご発言について  
ご連絡お願いいたします。  
[メ - J/snn@u01.gate01.com](mailto:メ-J/snn@u01.gate01.com)  
FAX 6719-0229  
例 10ページ5行目杭1山田

- 1．梅田貨物駅の百済貨物駅への移転計画（案）の説明【機構】  
事業主体について  
梅田貨物駅移転計画の経過について  
候補地（百済駅・安治川口駅）の現状について  
百済駅への移転計画（案）について  
施設計画、交通計画、周辺環境への影響、周辺施設計画  
（別途の配布資料に沿って説明された。約1時間の説明文言は省略する。）

## 2．質疑応答

【 住民1 】今日の説明会の議事録はとっているのですか。

【機構】 議事録はとっております。

【 住民1 】我々住民が今日した質問に対する答えは、後からどういう方法で検証、確認することが出来るのでしょうか。言っぱなし、聞きっぱなしでは何の解決にもなりません。ホームページでしょうか。それとも紙に書かれたものをどこかにおいてあるから確認に来いということでしょうか。できればホームページにさせていただきませんか。

【機構】 確認方法については、機構側で検討させていただきたいと思います。

【杭1中原】 育和連合町会長に質問します。この問題は非常に大きな問題です。住民の意見を聞き、反映してもらえるよう働きかけてくれるのは、地域を代表している府会議員や市会議員です。その府会議員や市会議員の方々には今日の説明会への出席要請はされたのでしょうか。そして、今日ここに出席されているのでしょうか。欠席されているのなら、その欠席理由も答えて下さい。

【連長・竹村】 本日の説明会につきまして、前もって連絡を入れ、各議員さんの所へ再度連絡を入れました。そうしますと、議員さんの中には前から予定が入っているため出席できませんということであったり、本日はどうしても用事があるため行けないということの方もいました。本日おいで頂いておりますのは、共産党の江川先生だけでございます。

【江川市議】 皆様のご意見を伺いまして、色々な機会に反映させていきたいと思っております。今後ともよろしく申し上げます。

【連長・竹村】欠席の先生方のお名前と欠席理由につきましてですが、坂井先生（市議員）は、本日は前々から旅行の予定が入っているので出席できませんということです。加藤先生（市議員）は、本日 19 時半から別の会合があるということで欠席です。野上先生（府議員）につきましては、海外旅行中とのことで欠席でございます。加藤先生と坂井先生につきましては、本日はそれぞれの秘書の方がおこしになっています。山本先生（市議員）からも昨日海外旅行から帰ってきたばかりなので、本日は欠席させて下さいということでした。

【市・司会】 それでは本日説明のありました計画内容について、質問やご意見をお願いいたします。

【社協会長米田】 今林の米田です。今回の件で一番迷惑を被るのは今林です。この今林 3 丁目の 4 万坪の貨物駅は、ご承知の方もいらっしゃると思いますが、太平洋戦争中に軍事目的で買収されたものであります。従いまして、今林としては絶対反対です。この計画案に書かれていますように地下道をもう一本増やして対面通行にするとか、陸橋を架けると言うようなことがあります。これは 50 年も 60 年も前に買収されたときの条件になっていたものです。今頃、地下道を増やすとかということはもってのほかであります。この 50 年も 60 年も放っておいて、今になって貨物の取扱量を増やすからといって、昔のことを引っ張り出すのでは納得できません。

しかも区画整理の際に整備した道路は住民のための生活道路であって、大きなトラックが走るためのものではありません。道が狭いです。従いまして最高の時、150 万トンと言っておられましたが、現在は 50 数万トンです。それでも貨物駅の北側の通りは一日に何回となく渋滞しています。渋滞を引き起こしているのは、一般車よりも貨物利用の車です。それなのにこれ以上持ってきてどうするのですか。

東部卸売市場は昭和 39 年に開業致しまして、当時最初の 5、6 年間に市場協会と今林と育和の役員さんが揃って話し合いをして、交通渋滞のないように色々な対策を講じながら地域に必要なではないかということで現在に至っております。従いまして平和的におさまっております。生鮮食料品を扱ったり、また大阪の台所を預かっているこの東部市場にとってもこういう大きなものが来れば、また渋滞をして機能が麻痺することになります。ですから住民も困るし市場も困るわけです。従いまして育和としましては東部市場共々に大反対でございます。

それから皆さん、よく考えて下さい。梅田北ヤードは開発するように言っていますが、大阪市の活性化の為に開発すると言っているのです。それが本当に出来るのでしょうか。またぞろ第三セクターのような大失敗をするのではないですか。計画すらなっていないわけです。学者や医者が考えたところで何もできません。梅田北ヤードは 24ha もあるのですよ。そこへ何が持ってこれるのですか。まだ買い手も決まっています。本当に活性化になるかどうかわからない梅田のために迷惑なものを育和に持ってくるのですか。従いまして税金を納めている市民を困らせるようなものには今林は町を上げて大反対します。皆さんもよく考えて下さい。

【機構】 非常に厳しいご意見を頂きまして、私どもも今林地区の経緯につきましても非常に厳しい経緯があると存じ上げております。しかし、今現在、百済の貨物駅がございまして、今回計画をご説明させていただきましたように、今の交通の流れよりも少なくとも百済駅北側の東西道路には貨物利用の車両を通さないということで、少しでも向上できるようにと一生懸命考えて参りました。この移転を契機に、今の百済駅はあまり綺麗ではないと思いますが、そういう駅が綺麗な駅、或いは効率的な機能的な駅になるということも一つ期待できるのではないかと考えております。だからといって皆様に全てを我慢しろとは思っておりません。やはり皆様方のご意見をお聞きして、出来る限り施設整備計画の中に生かしていきたい、出来るだけのこととはさせていただきたいと考えております。

東部市場前の駅につきましては、交通量の関係なども調べておりますので、担当の方から説明致します。（以下、担当者答弁）

先程も説明で申し上げましたように、百済駅前交差点の東側道路におきましては朝のピーク時などでは、渋滞が発生していることは事実でございます。その主な原因につきましては、先程もご説明申し上げましたとおり、百済駅前の交差点から杭全交差点の方へ左折してくる車両によるものと考えております。そのため、この混雑緩和のために地下道を対面通行化して、しかも計画しております運行経路によりまして交通量を分散させるというようなことで、少しでも百済駅前交差点の渋滞を

軽減できるものではないかと考えております。しかしながらこの渋滞対策については引き続き検討を進めて参りたいと考えております。

【 ・住民2 】 先程、この計画に反対ですという意見がありました。それに対する答えはないのですか。

【機構】 東部市場を出入りする車への影響ということだと思いますが、先程もご説明しましたが、既存の出入口から右折につきましては、1,030台の車が北方面、東部市場の方へ向かいます。全体交通量42,800台からしますと2%でございますが、我々の考える数字では東部市場を出入りする自動車関係につきましては一日当たり18千台強ということで、特に東部市場に入場するピーク時の台数につきましては朝6時から8時という間で平均して1時間に800台位の車が入場しているということになります。それでは先程ご説明いたしました1,030台の百済駅から出入りする車がこの6時から8時の間に何台通行するかと申しますと、一時間当たり約50台でございます。簡単に申し上げますと、1分間に1台位ということでございます。また、一般の交通量につきましては一日辺りでは42,800台ですが、ピーク時で2,300台です。この中で百済駅を出入りする車は60台。これらのことを考え合わせますと、百済貨物駅が東部市場に入ります車に大きな影響を与えないと言うふうに示すところでございます。

【東・船津】 東町会の船津でございます。まず、ご覧の通りえらい反対の意見が出ましたけれども、あんなことが初めに言ってくれていたら何も問題はございません。平成15年7月にこの貨物駅の設置の問題が出たときに、私たち19町会の内、16町会長が意思表示をして一堂の協議をしてもらいたいという意見を出しておったのですが、そのまま大阪市の方がどういうわけになったのか、連合団長がどういう関係になったのか、各議員さんもたくさんおられますけれども、誰一人として助けてくれた議員さんはございません。一番最初にこの問題が出たときに、誰に言ったのか。国会議員が知っているのか、市議員が知っているのか、府議員が知っているのか、全く知りませんという返事が私たちの中に参りました。

具体的に申し上げます。平成15年の7月に最初提示されたのは、誰に提示されたのか、大阪市に聞いてもわかりません。今日ここにも大阪市の川田課長がおられますが、終始一貫して機構の考えはわかりませんという結果でした。そしてさらに12月13日ですが、ここで経過を報告する会議をしている最中に報道機関にこの百済駅の問題がすっぱ抜かれて、御破算になりました。その結果、川田課長は報道機関に対しては私は直ちに抗議を申し込みますと約束されたのですが、そのままになっております。そういうような中で、現在育和の社会福祉協議会と連合町会は実に支離滅裂、混乱状態に陥っているのが現状でございます。すいませんが、その点を充分考慮して討議していただきたい。特に各議員団の先生によろしくお願ひしたい。先ずはこういった経過について大阪市からの説明を聞かせて下さい。

【市・川田課長】 今頂いたお話について、これまでの経過を少しお話しいたします。機構がこのような百済貨物駅という具体的な計画案を出して来られまして、それに対して大阪市としましては、地域の皆さんにまずお知らせして色々な意見を頂きたいということが我々としてありました。そこで平成15年の夏頃にそういうお話を機構から伺いましたので、連合町会長さんと社会福祉協議会の会長さんのお二方に、これからどういう形で皆さんとコミュニケーションをとっていけばよいかというようなお話をさせていただきました。その後、役員の方々にも入っていただきまして、どういう形で進めていこうかというお話をずっとさせていただきました。そして12月に機構が百済貨物駅でやるということを相当意思としてはっきりされましたので、我々としてはそれをきちっとお伝えして、どういう形で意見を頂けばよいかというお話を13日にやろうとしたところ、事前に報道機関が新聞に書かれました。それに対しては私も抗議致しまして、その旨は13日にもお話ししたところでございます。そう言ったものの、この問題は町会長さんだけで済む話ではございませんので、やはり小学校を借りて(説明会を)やっていくべしだろうということがありまして、時期はもう少し早くやりたかったのですが、2ヶ月位ずれ込んでしまいまして2月になってしまいました。それは非常に申し訳ないと思いますが、こういう形で機構から正式な形で説明させる場を取らせて頂きました。今日は機構としての初めての説明にもなりますし、初めてお聞きになれる方もたくさんおられると思いますので、本当にご不満な点もたくさんあると思いますし、技術的にわからないところたくさんあるうかと思っております。我々もそういう地域の方の生の声を聞かせていただいた上で、

機構に色々なことも要請していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

【今林・横山】 今、大阪市の方は十分にコミュニケーションをとると言われました。それなのに時間を切られたらどうにもなりません。皆さんたくさん質問があります。手を挙げても前の方におられる方しか発言できません。立ったら先に発言できる。そんなやり方はないのではないのでしょうか。時間制限なしにやるのですか。日を改めてまたやるのですか。

【市・司会】 時間は限りがありますので、質問の方も手短かに要点を押さえてお願いします。

【大通・住民4】 私は大通町会で25号線沿いに50年以上住んでいます。騒音と公害、最近の状況を前に座っておられる方（機構）でご覧になった方、経験ないのではないのでしょうか。ここに描かれております絵は誰でも簡単に描けます。こんなものではありません。本当に住んでみて下さい。夜、寝られません。コンテナを積んだ車が信号で止まると、どんな音がしますか。揺れます。特にそれは急ブレーキをかけたときです。今は冬だから風もきついし、割に公害も感じません。ところが暑くなってきますとどうでしょう。あの臭いはひどいものです。もう生活が本当に嫌になります。そんなところで私は住んでいるわけです。現状でも車が渋滞して救急車も消防車も走れません。横道から緊急車両が出てきて、サイレンが鳴り止んだから事故かなと思って出てみると、違うのです。車の渋滞で走れなくて停まっているのです。そんな緊急車両がありますか。そんな状況の中でこれ以上車が増えるという計画に黙ってはおれません。百済駅は確かに電車としては余裕はあるでしょう。しかしそれによって車が増えるというのに対しては計画が出来ていません。今の道路とは別にどこかにつくって運ぶのならいいです。今の道路を使って、例え一台でも増えたらいいけません。そんな計画は絶対に反対です。

【機構】 百済駅へ梅田貨物駅の残る機能を持ってくるにあたりましての交通計画については、出来るだけ地域の皆さんに負担のかからないよう、現状の生活道路や交通渋滞の激しい杭全交差点を出来るだけ避けたいということで計画をしたということ为先程説明させていただいたわけでございます。そう言った計画経路に対して、現状の一般交通量に移転後の貨物関連自動車を加味しまして、騒音や振動などを予測しまして評価したところ、現状に比べて皆様の生活環境に大きく支障をきたすものではないということを示しておりますところでございます。

【杭5・林】 これまで男性の意見ばかりだったようなので、女性の意見も聞いていただきたいと思ひます。

21世紀は女性の時代というわけではないのですが、私たち女性は命を生み育むという使命がございます。私もこの育和地域に住みましてから35、6年ですので、ここにいらっしゃいます大先輩、先程の米田会長のように歴史までは存じ上げませんが、今のお話を聞いておまして、色々と数値も書いてあるのですが、全然環境問題にも差し障りないように書いてございます。そしてまた私は一市民として新聞報道でしかわかりません。町会長さんのように早くからお話を聞いておりません。そんな立場で、新聞を見ましたら既にこの梅田貨物駅の残りの移転先はもう百済に決まったとか、夕方に家にいてニュースをみたらNHKまでもが言っておりました。そんな中でただびっくりしておまして、説明会もないままに今日になりました。そして今日ここに来まして、やはり子供にとってはこの育和地域がふるさとでございます。私はどうせ先に死ぬ人間ですのでよいのですが、これから先21世紀を担う子供達や孫達のためにこんなことを黙っていて我々住民はよいのでしょうか。女性で声を出さないといけないと私は思っております。先程、議員の先生云々という声が出ました。一会派の市会議員の声、或いは一政党の声だけでは私たち女性は動きません。そんなちっぽけな問題ではなくて、本当に住民の声を大切にしてくれるという意味からは、今朝ほど議員に言ったところで空いていなくて当たり前です。ある女性議員にあなたが女性の味方なら飛んで来なさいと個人的に言いました。そうしたらこれでは口出しできませんと言われまして、そんなことなら議員なんて辞めればいいと言ってやりました。そんな状態の中でこの説明会が堂々と開かれることに私は本当に怒りをおぼえております。今後、こういう会議を持つときには本当に真剣に考えて取り組んでいただきたいと思ひます。

【杭2・井上】 私は今までに考えられて今日の説明にあったような勝手な計画には絶対反対です。先程からご発言されておられる皆さんは町内会の役員をされておられるような方々

なのですが、私は杭全2丁目で交差点の近くのマンションの11階に住んでいる者です。本当に個人の質問です。説明資料の5ページ、環境に及ぼす影響のところ、二酸化窒素濃度や浮遊粒子状物質の数値などの資料が出ているのですが、これは予測ですよ。この文を読む限りでは実測ではないです。私は11階に住んでいて、夏などは一日何も掃除をしなかったらディーゼルの真っ黒な埃がわっと溜まっています。それから24時間ずっとやかましすぎて本当に窓を開けて寝れるときはありません。混雑時、トラックがクラクションを鳴らすので本当に寝ていただけません。こういうことが益々これから増えるとなると、非常に問題だと思っています。

今回の説明資料にあるように予想されているのですが、杭全交差点のところには何も書かれていません。何も測量するようになっていませんが、これはどういうことでしょうか。この予測場所は問題がないところばかりされているように見えます。その辺りの回答をお願いいたします。

【機構】

只今、大気質の影響に関するご質問がございました。大気質関係の予測調査につきましては、百済駅周辺に既存の市所管の観測施設がございます。今お話の杭全交差点から約2km程百済駅から離れまして、例えば北の？中学校や中野中学校など、そういう所のデータがございますので、そういった既存データを使用いたしまして、大気の予測をたてております。実際には酢酸計算ですとか、非常に専門的な計算が必要になりますので、市環境保健局の既存データ等を計算致しまして、先程申しました一般の交通量に移転貨物量を加えた交通量で先程の二酸化窒素、或いは浮遊粒子状物質の濃度がどうなるかというものを計算した結果、現在の基準値であります、例えば二酸化窒素でありますと0.06ppmですとか、浮遊粒子状物質でいいますと0.082~0.090mg/m<sup>3</sup>といった基準値を下回るという結果の予測を立てているところでございます。

【杭1・中原】

作為的に観測地点が的を外れています。それはどういうことですか。

【機構】

先程の環境予測の前提条件で、こういった地点で予測評価を行うかという説明をさせていただいたところでございます。大気質の影響につきましてはやはり貨物関連自動車の走行、何回もお話しして恐縮ですが、一般の交通量に移転してくる、或いは現状の貨物用自動車に加わりまして、そういった自動車の走行に対する影響が一番大きいとこととありますので、運搬経路として予想ルートを設定いたしまして、貨物関連自動車交通量の多いところを予測しています。杭全交差点につきましては、先程のご説明致しましたとおり、現状では470台位走行していますが、私たちの予測では約100台位貨物関連自動車は減るということでございます。確かに先程申しました大阪府で測定しております測定値、既存のデータで言いますと、杭全交差点では0.063ppmということで環境基準値は現状でも既にオーバーしておりますが、今も申し上げましたように、移転後の自動車の影響は100台減ることになりますので、ほとんど影響は与えないということでございます。

【杭5・日裏】

杭全5町会の日裏といいます。竹村連合会長さんにおたずねします。育和地域の為にいつもご尽力頂きましてありがとうございます。今、説明について皆さん色々反対の意見を発言されておられますので、連合会長さんも反対ということは意識されていると思うのですが、何も説明がないまま新聞に大々的に発表されたということも先程もおっしゃられた方がおられましたが、書かれた記者の方も海のものとも山のものともわからないことを記事にはされていないと思うのです。もう一度、この住民の方々の前で明確にさせていただきたいと思います。この問題はまだ白紙の状態なのです。そのことをきっちりここで断言して頂きたいと思います。これから住民の方々とこの問題について取り組んで行かれるということなのですね。新聞記事ではもう確定のような形で載りましたので、皆さん勘違いされていて、もう決まっているのではないのとおっしゃられる方もいるのです。今夜初めて説明会をもって頂いたので、今日からが出発点ということなのではないでしょうか。ご返答をお願いいたします。

【市・司会】

今日は機構からの説明の場なのですが、今のご質問は連合内部のことだと思うのでお答えいただくべきかどうか私はわからないのですが、もしも竹村会長がお答えいただけるのであればお願いいたします。如何でしょうか。

【連長・竹村】

私はこの話は新聞に載るまで全く聞いていませんでした。移ってくるだろうという目測の話は聞きました。けれども移ります、或いはこういうふうにやりますというはっきりした意思は聞いておりません。こういうことがあり得るだろうということは聞き

ました。ですから改めてこの問題は白紙で皆さん方と討議していきたいと思います。

【杭1・益田】 杭全1町会の益田といいます。白紙と言うことであれば、また改まった気持ちで発言したいと思います。先程からここに色々なデータを出しておられるのですが、これが全くでたらめだとは言いませんが、例えば極端な話で言いますと、一分間に一台車が通るとい回答ですが、そんなことはあり得ません。6時から8時の間に一台一台一分間隔で走っていくということはありません。集中するときは決まっているわけです。先程の観測地点という点でも既存のデータだとおっしゃいました。そういうことが実状とは合っていないわけです。それが実状に合うかどうか、それを聞くためにこういう公聴会をやっているわけです。されている説明が全く的を射ていません。これでは納得もなにもできません。こんなデータを出してもらっても何の意味もありません。その辺をはっきり答えて下さい。

【機構】 先程説明で東部市場へ出入りします自動車台数につきまして確かに一分に一台と申しましたが、比較的わかりやすい、皆様に理解していただきやすくするためと思いいし上げました。きちんと一分に一台通るわけではございません。その2時間、或いは1時間の間に場合によっては一分間に2台ということもあります。その時間の間を平均すればおよそ一分間に一台位になるという意味で説明させていただきましたので、今のようなご意見は確かにそうですが、私の説明の仕方が悪かったのかと思います。

【杭1・益田】 そんなことはわかりきったことです。そうではなくて、先程からおっしゃられているように実際に大きな騒音があって、すごい振動が伝わるというように、実情とにズレを認識されているのかどうかということを知りたいのです。それを埋めるために説明会をしているのでしょ。その辺をよく話を聞いて、これから検討して下さいと言っているのです。

【機構】 繰り返しの説明になりますが、振動やそういった影響予測につきましては環境影響評価、一般的に用いられております予測手法、計算方式で計算をさせていただきますので、そういうもので計算を致しますと、現在人が振動を感じると言われている振動感覚閾値55デシベルを下回るというような予測になっております。

【杭・住民6】 杭全の者です。先程、連合町会長さんのお話では白紙に戻して一からということでしたが、ずっと機構の説明を聞いているとこの計画が進行形のように聞こえるのです。どう聞いても進行形で、あなた方はこの話で納得しなさいというふうに聞こえるのです。もしもそう言うお考えで説明されているのなら、皆さんこの地域の方々全体でもいいのか悪いのかという住民投票でもしていただいて、それから進行形にしていただきたいのです。

【機構】 今、進行形に聞こえたというご発言でしたが、確かに先程来からの説明にありましたように、皆様方にこの計画をご説明したのは今日が初めてでございます。しかし機構が説明をするまでには計画をつくらなくてはなりません。ですから計画をつくるためには、今までに色々なことを作業として我々はやって参りました。時間もかけて参りました。それを進行形ともしも受け取られておられるのなら、その点については申し訳ございませんが、やむを得ないこととさせていただきますし、この計画自身は一応判断してきたものでございますので、今日は皆様方のご意見を伺いまして、出来るだけそのご意見を反映できるようにと言う形で今日の説明会をさせていただいております。そういうことでご理解を得ると言うことでの説明会ということで今、皆様方不十分だと感じられる部分もあると思いますが、ご容赦いただきたいと思っております。何卒、これからの百済駅というものを皆さんと一緒によりよいものにしていくということでご協力を頂きたいと思っております。

【杭5・軽本】 それでは余所へ移転するという可能性もまだあるということですか。百済に決定しているのではないのですか。余所へ行く余地もあるということですか。今の回答を聞くとまだ余所への移転の余地もあるように聞こえます。

【機構】 もしもそう聞こえたとしたら、先程来からご説明しておりますように梅田貨物駅の移転ということに関しましては、この案、百済の案以外には我々としてはないと考えております。

【杭5・軽本】 それでは先程、あなたは地域の方々のお話を聞いてということと言われたけれども、それはどういうことだったのですか。

【機構】 それは施設整備の計画のこととさせていただきます。この施設整備の内容につきましては皆様のご意見を伺いたいと言うこととさせていただきます。

梅田貨物の移転先としては、先程も申しましたように安治川口も難しいとすることとでございます。機構としては百済が移転先としては最適の案であると考えております。

- 【杭 5・軽本】 それでは地域住民がこれ以上反対したら考え直す余地はあるということですか。
- 【機構】 我々としましては一応最適な案であると考えておりますけれども、皆様方にご意見をお聞きして進めていきたいと思っているということとでございます。
- 【杭 5・軽本】 それではこの問題は育和だけが関係していることではありません。隣接している平野区も生野区もみんな関連してきます。余所へはどうするのですか。話はするのですか。こういうような会合を持つつもりですか。
- 【機構】 それにつきましては我々の方で改めて検討させていただきます。また、大阪市さんともご相談させていただきたいと思っております。
- 【杭 5・軽本】 こういう話の時は最終決定権を出せる人間が出てくるべきです。いつもこういう説明の時は持ち帰って相談しますと言われる。それならこんな説明会は何の意味もありません。
- 【大通・佐藤】 育和大通り町会の佐藤と申します。一地域住民の立場から素朴な質問をさせていただきます。大筋で今日は機構からの説明の後、質疑応答ということで、その線に沿って今日のそして大筋の質問を二つ致します。お答えは簡潔にお願いいたします。またあまり時間がないので、半時間位延長を要求いたします。そのご答弁の内容について各人から発言をしていただきたいと思います。
- まず第一にこの地域に影響を与える大きな事業の計画、これが始まっていわゆる企画があって設計図となるわけですが、その当初から並行して、生活環境に大きく影響を与える地元住民に対して、同時進行でなぜ機構が説明してくれなかったのですか。地元との接触をなぜ持たなかったのか。極秘的にこういう事業計画を進めたいという気持ちがあったのかどうか、ということを確認に答えていただきたい。なぜ住民無視の形で計画をしていったのか。
- 第二点。これがスタートラインだということですが、これから以降地域住民による内容の検討、そして最終的には住民投票というような形で賛否の採決をとる。その時点でもしも反対だという結論を（地元が）出した場合、機構側にこの事業計画の白紙撤回、凍結、中止、計画案の見直しというような選択肢をお持ちなのでしょうか。それを明解に簡潔に答えて頂きたい。この機構の答弁について皆様のご意見をお願いします。
- 先ずは会議の半時間延長を願います。
- 【機構】 機構と致しましては、梅田貨物駅の移転の事業者と致しまして、大阪市内の移転につきまして、色々検討してきたことは先程もご説明したとおりでございます。結論的に申し上げますと、百済駅で梅田貨物の移転を受け入れるための施設整備をするということが最適であるというふうに判断をしておるところでございます。しかし施設整備といたしましては、先程来ご説明いたしておりますとおり、貨物関連自動車が増加したりというような関係で交通計画、どういうルートを通すのかとか、その結果環境へどういう影響があるのかというようなことについてとりまとめさせて頂きましたが、住民の皆さんにもやはり計画をご説明いたしまして、いろいろと皆様からご意見を頂いた上で、我々でそれに対応する、出来ることを可能な範囲で相談した上で、我々の考えております施設整備を百済駅で進めたいということとでございます。
- 【杭 1・中原】 これには案と書いてあります。決定ではありません。白紙でしょ。この説明資料に書いてあるのは案についてです。
- 【市・司会】 次の質問に移る前に、先程のご質問の中にありましたように、当初の機構の予定しておりました時間が参っておるのですが、まだご意見があるように思いますので、私としましては時間の延長をしてはどうかと思うのですが、機構の方はその点について如何でしょうか。30分の延長は可能でしょうか。
- 【大通・中村】 機構からの説明はもう結構です。
- 【機構】 当初は8時半までで終わらせていただきたいということをお願いしておりましたが、住民の皆様のご要望なので30分の9時までと言う延長で進めさせていただきたいと思っております。
- 【市・司会】 それでは次の質問を受けたいと思っております。
- 【杭 3・河村】 皆さんも色々ご質問もあるかと思いますが、時間を延長したところで、機構が

らは全く同じような回答しか出てこなかったと思います。皆さんの貴重な時間を使っているのに、この辺で私が最終的な質問としてさせていただきたくと思います。機構の方に伺います。地域住民が計画を阻止したい、反対したいということがもしもあれば、機構はその声を無視して強行的に事業を行うのですか。

【機構】

住民の反対というのは色々な事業をする際にはあるかと思えます。色々な事業を我々も進めてきておりますので経験しています。ただ、住民の方々の総意かどうかというのが色々あると思えます。先程、皆様もおっしゃられましたように、我々は今回の百済での施設整備に関しましては育和連合会が影響を受ける地域であり、一番ご意見のある地域だと思っておりますけれども、その中でもいろんな方々がいらっしゃると思えますし、また育和連合以外の方々もいらっしゃると思えます。そういう方々のご意見を色々我々も気にしていかなければいけないと思っております。今日、今ご質問されたことに対しまして申し上げれば、その反対の意思が何処までのものかということが私にはまだわかりませんので、答弁を控えさせていただきます。

【杭3・河村】 それなら地域住民の皆さん、反対だと思うのですが、今この計画案に反対だという意見の方皆さんで挙手したいと思えます。それでは、一斉に。

【多数住民】 「反対！！」

【杭3・河村】 この意思をどうしますか。ここにいる全員が反対と言ったらどうしますか。この中には町会の方も社協の方もおられます。

【連長・竹村】 先程この問題は誰が最初に聞いたのかというご意見がございました。我々は、この問題を早く皆様にご説明したい。新聞報道されるまでは、それまで全然知りませんでした。皆様方になるべく早く説明の機会を持ちたいと言うことで進めて参りました。

【多数住民口々に】 新聞報道が出るまでに知っていたでしょ。

そんな嘘をつくな！

【連長・竹村】 そういう可能性があると言うことは知っていたので、それを一日でも早く皆様方にお知らせするという事で大阪市の方に、機構と早く話をしたいからこういう会合を持ちたいということをおっしゃりまして、それが役所の方がその問題はそうすぐには解決できるものではありませんということで、なかなか答えを出して参りませんということで、再々お願いしておりました。もっと早くこういう会合を開きたいということをお願いしておりましたが、それが今日になってやっと皆様方とお話しすることになったのです。ですから決して我々は放っておいたわけではございません。そうしている間にこのように新聞紙上に載ってしまったわけではございません。決して放っておいたわけではございません。

【杭1・今橋】 杭全1町会の今橋と申します。基本的なことを大阪市の川田課長に伺います。こんなにみんな嫌がっているのです。全員反対しています。その場合、梅田貨物の半分は吹田へ、残り半分はどこか他へ行くか、梅田へ戻すわけにはいかないのですか。なぜこんなに言うのかと言うことを聞きたい。

【市・川田課長】 機構が先程來說明されてます貨物駅の移転に関しまして、確かに吹田に半分、大阪市内に半分ということになっておりますが、貨物とすれば行き先がありますので、列車のダイヤですとか調整をされて最終的に機構として国の法律に基づいて、私も詳しいことはよく知らないのですが、ギリギリの選択肢として百済しかないということで、腹をお持ちで説明をされているという状況であると思えます。

それでは大阪市はどうするのかということになりますが、確かにこうして現実的に百済しかもうないという状況を突きつけられた中で、我々も判断していく必要があるわけですが、確かに地域として法的にこれを承認するか許可するか、反対するか、賛成するか、或いは権限を持っていないということは現実の話ですので受け止めていただきたいと思えます。

この代替案として百済しかないという中で、今日の色々な説明の中でやはり反対されている方は、環境の問題やトラックの交通の渋滞の問題、騒音や振動など、それぞれ反対の理由があると思うのです。機構は移転先としては百済と決めているわけですが、施設についてはまだこれは計画案の段階です。ですから環境の基準の数字だけでいいのか、また補助的に問題を掘り下げて、どういうことができるのかということの意見を聞いて、それがはたして計画の中に上手く盛り込んで、それなりのものでできるものなのかどうかというところが、我々が言う皆様のご意見を伺って解決していかなければならないところだと思っております。そういう立場だと考

えておりますので、今日も限られた時間の中でまだまだご意見があると思いますが、そういう面においてご意見を頂きたいと思っております。

【大通・中村】 大通町会の中村と申します。まちづくりの会の副委員長もさせていただいています。これまで機構の一方的な説明をされたので、私としてはここで皆さんに我々が百済について調べてきたことを一緒にみていただいて一緒に考えていただきたいと思います。今、機構の方々は自分の都合の悪いことはおっしゃっていないわけです。ですから我々の説明を聞いて頂いて、イエスかノーかがはっきりわかると思っています。如何でしょうか。

(一同拍手で同意)

それでは皆さんの同意も頂けまして、そう言うことですので、機構はここで退席していただきたいと思います。機構の皆さん、有り難うございました。これで機構の説明会を終わらせていただきたいと思います。よろしいですね。

【市・司会】 先程 30 分延長するという事で皆さんの賛成を頂いたわけです。

【大通・中村】 この冊子を頂いたところで、なかなか読んでわかりません。ですからこれは家に帰ってゆっくり読んで頂いて、それからまた配布をつけて連合や色々な人を入れて対策委員会のようなものをつくって窓口にしようということを考えています。今日、機構に対して質問が出来なくても、先で質問できるチャンスができるようなシステムをつくりますので、その点でご了解いただきたいと思います。

【市・司会】 いずれにしても 9 時まで残り 15 分ですし、どうしてもご発言があるという方もおられると思っておりますので、ご意見のある方お願いいたします。

【大通・丸岡】 先程、機構の方から百済貨物駅に貨物が増えても影響がないというようにおっしゃいましたが、現実には貨物駅から直接影響を受けているわけです。ここ(資料)にいろんな数字が記載されていますけれども、この数値をみても私はわからないわけです。皆さんもわからないと思っております。

一つだけ想像できる数字がございました。8 ページの「100 万トンの貨物量はどの程度の量なのか」という問に対して、昭和 47 年度が年間 150 万トンで、その昭和 47 年当時に匹敵するとおっしゃっておられました。その 47 年当時、育和連合の一番端に地下道がありますが、あの地下道から杭全のロータリーを通過するまで、朝のラッシュ時、9 時を過ぎるまでは 30 分かかっていました。今、約 5 分あれば充分に通過できます。ということは今の 6 倍の時間がかかっていました。杭全のロータリーで計測されていないということ为先程おっしゃっておられましたが、例えば今、杭全のロータリーで計測されてもここに書かれているようなまやさしいものではありません。今の 6 倍の排気ガスがでると考えられるのではないのでしょうか。

色々疑問はありますが、大阪市に一つお聞きしたい。大阪市は色々事業、三セクの問題にしても、育和地域に福祉施設として市がつくられた今林の里もあります。JR 貨物駅のそこに今説明されたような貨物が入ってくるわけです。それについて大阪市はどう考えておられるのでしょうか。大阪市がもっと反対しなければならないのではないのでしょうか。

【市・川田課長】 今のご意見で大気、騒音の問題、そして横にいろんな施設があるということで全体の土地利用の問題ということですが、色々な立場で違うと思っておりますが、周辺地域の方が住まれていて、自分の地域がどうなるのかということが一番身近に感じられる方だと思いますので、今頂きましたようなご指摘、こんな問題があるじゃないかというようなことを示していただいて、それを機構にこういうふうな問題があるから解決するよう努めてくれと働きかけるのが我々であると考えていますので、よろしく願います。

【大通・東野】 大通り町会の東野と申します。先程、数値的にわかりにくいとおっしゃられたご意見がありましたので、わかりやすいものを申し上げますと、資料の 5 ページに「二酸化窒素濃度の日平均の年間 98% 値は、0.056 ~ 0.060ppm と予測され、全ての予測地点で基準値以下となっています」とありますが、この基準値が 0.06ppm で、予測値の一番大きい値が 0.06ppm なんです。この予測値は前の 4 ページにあるように貨物関連自動車の運行経路によるものです。この運行経路については「貨物関連自動車の運行経路を遵守するため、JR 貨物と利用運送事業者との間において運行経路に関する覚書を締結します。」とありまして、そういう話し合いをしてルールを交わすということですが、この経路はきっと守られないと思っております。もちろんあくまでも予測です。もしもこれが守られないとしたら予測値を出す根拠となる 5 ページのル

ートが代わると思います。例えば、平野大通東交差点を奈良方面に曲がっていますが、天王寺方面に曲がる車も出てくると思います。そうすると今の予測値の値がギリギリなのに、杭全交差点などは基準値の 0.06ppm を明らかに超えることになると思います。超えた場合はどういうふうにするかと考えておられるのかをお聞きします。

【市・司会】

中村さん、今、他の方が発言されているのになぜそれを妨害するようなことをするのですか。(住民からの説明)準備は質疑が終わってからにして下さい。9時まで説明会の時間を延長すると決めたではないですか。なぜそれを守れないのですか。

それでは只今のご質問に対してお願いします。

【機構】

只今のご意見は私どもが説明いたしましたルートについて JR 貨物と運送事業者との間で覚書を交わすと言ってもこんなものは守られないだろうという前提でのお話ですが、これは私ども事業者としましては、貨物事業者であります JR 貨物と利用事業者とでルートについて覚書を結んで頂いくという前提の上で計画しておりますので、影響はないとしておりまして、それを守っていただくということを考えてございます。

【杭 5・松田】

時間もないので簡単に 4 つの質問をします。資料の計画案に書かれているのですが、大気質について細かい数値がたくさん書かれていますが、わかりにくいです。現状よりよくなるのか、それとも現状のままなのか、或いは悪くなるのか、3 択で答えて下さい。

【機構】

大気質につきましては車が増えますので影響は増えますが、0.056~0.06ppm と予測しております。

【杭 5・松田】

それは少ないレベルではあるけれども増えると言うことですね。では、騒音、振動についても同じ質問をします。同じように 3 択でお答え下さい。

【機構】

騒音につきましては、等価騒音レベルの増加は 1 デシベル未満となっておりますが、若干増えると言うことでございます。

振動につきましては、先程もご説明いたしましたが、人が振動を感じ始める振動感覚閾値を下回る緩い振動でございます。

【杭 5・松田】

最後に一点。先程、自動車経路について覚書を交わすということですが、もしもそれが守れなかったときに、誰が守らせる責任と権限を持っているのでしょうか。

【機構】

先程と全く同じ答えになってしまうわけですが、現在我々は事業者としてこういう計画で貨物運行経路につきましては、貨物事業者であります JR 貨物と利用事業者でありますところとで覚書を結んでもらって、あくまでも守っていただくということを前提として計画をしてございます。

【杭 5・松田】

機構が出された計画をみていますと、どうみても公害被害を増やすだけで、今の被害を緩和させるとか、育和地域に何らプラスになると思えるものがないのです。こういう状況なら反対しかできません。それをよくわかって下さい。

【杭 1・水野】

杭全 1 町会で杭全交差点の北に接して住んでいます。まともに毎日杭全交差点を実感しています。朝晩のラッシュアワーは、交差点は、朝は東から夜は西ないしは北から大渋滞が発生します。そうすると交差点内は停まってしまいます。そこへ貨物関連自動車が 1,200 台も増えたら、本当に東京のようにディーゼル車を全部通行禁止にしてもらわなければ、人間は生きていられません。人間の感覚で物事を考えておられるのかどうかを聞きたい。

17日の火曜日にズームイン朝で讀賣テレビが交差点のことを放送します。皆さん、渋滞がどんなものか見て下さい。

【機構】

杭全交差点の渋滞のお話、そこへ梅田からの貨物を移転させてさらに車を増やすのではないのかと言うことですが、先程來說明してますように、現状よりも移転後の百済の計画では杭全交差点においては 100 台ほど貨物関連自動車は減るということで計画をしてございますので、是非ご理解の程をお願いいたします。

【今林・松下】

今林の松下と申します。説明資料の地図で申しますと、現在の貨物の出入口から今里筋へ出る方に信号がついています。この出入口がある北側の道路が通学路になっています。子供はみんなこの歩道を通って杭全の方に行くのですが、この今里筋へでる信号で車が渋滞しています。貨物出入口から自動車は出られない状況です。こんな状況の道路を子供達はどうやって通うのですか。出入口でも停まっている車がたくさんあって、歩道の間を開けてくれれば渡れるのですが、停止線より出てきていますので子供達はそこも渡ることが出来ません。そんな状況でこれ以上車が増えるというものを私たち今林の住民は絶対反対でございます。今は通学路というこ

とで申し上げましたが、お年寄りもみんなこの歩道を歩いているわけです。この出入口が 20m程ある関係上、渡ることが出来なくなっているのです。そんな現状なのに、まだこれを増やそうなどというのはどういうことなのか。今林住民としては反対以外の意見はありません。

【機構】

先程の説明でも確かに既存の出入口を出まして百済駅前交差点へ向かう車は現状よりも増えると申しました。そんな中で確かに既存の出入口が通学路になっているということも我々も承知しておりますので、先程周辺施設の計画という中で通学路の安全対策の一環と兼ねまして歩行者と自転車の通行が出来る跨線橋を整備していくという計画をしております。そしてもう一点。現在の自動車は百済駅前交差点を左折しております。この交差点の渋滞は主として一般車の左折によるものだと思っておりますが、今回我々がルートを見直すことによりまして、少なくとも百済駅前交差点を左折させる車両は基本的になくすという提案でございますので多少なりとも渋滞を軽減できると考えております。ただやはり 1000 台を超える車が増えることになりまますので、引き続き適切な対策を検討して参りたいと考えているところでございます。

【杭 2・井上】

先程も発言して 2 回目なのですが、杭全交差点に面して住んでおります井上と申します。杭全交差点は貨物関連自動車が減るというお話ですが、大体普通、大きな事業をする場合は、その事業主は周辺の住民にどういう利益をもたらすのか、またそれによってどういう環境が改善できるのかということを考えて頂いて事業を起こすわけだと思っておりますが、今のお話ですと何も住民に利益をもたらさない。まだ公害をもたらすということではかご説明されていないわけです。申し訳ありませんが、（機構の）皆さんは杭全交差点をよくご存知なのではないでしょうか。見られましたか。きっと知らないからこういうことが言えるのだと思います。たとえ一日でもあそこで住んだのなら、こんなことにはならないと思うのです。私はわざわざ 2 年前にそこに移り住んだわけですが、えらいことをしてしまったと思っています。それでも私はここが好きだから住み続けているわけで、好きですけれども、これ以上環境を悪くはしたくないと思います。事業主とすれば当然、あそこで事業することが必要なのでしょう。必要なのだとは思いますが、本当にもっと道路を広げる計画や、中央環状線に直接繋がるとか、そういうことを計画されてお話されるのであればいいのですが、ただ入口を分けるだけです。分けたところでトラックはその通りには走るわけがないから、結局渋滞するわけです。杭全交差点は他の車も通るわけですから、絶対に渋滞が益々増えるわけです。それを（機構）皆さんはわかっておられません。一度、本当に一日でもよいから住んでみて下さい。

【機構】

同じような答えの繰り返しで恐縮ですが、交通計画の運行経路を計画する基本方針と致しまして、杭全交差点に負荷をかけないようにということで計画をしましたので、我々の計画では現在百済駅を出入りしている車の台数よりも減らすことが出来るという計画を立ててございます。

【市・司会】

それでは予定の時間が過ぎましたし、ご意見についても一通り手が挙がらなくなりましたので、これで終わりにしたいと思います。中村さんを初めとする方々から別途引き続き中村さんからの説明会をやりたいという申し出がありました。しかし今日、この会場を借りておられるのは鉄道機構の責任でございますので、鉄道機構の方に判断をお願いしたいと思います。

【機構】

本日の説明会につきましては、私ども機構が責任を持って会場を準備したり後かたづけをするということで学校側の許可を頂いているわけでございますので、この説明会が終わりましたら予定通り私どもと致しましては会場の後かたづけをさせていただきたいと思っておりますので、どうぞ皆様ご理解の程お願いいたします。

【大通・中村】

我々は連合町会長に事前をお願いして許可をもらっているのですが、機構がその話を全く聞こうとしないのです。ですから機構や市は退席していただいて結構です。

【市・司会】

それではこういったことで如何でしょうか。私から一つ提案させていただきます。機構も会場を借りている責任がありますので、機構も同席いただいて手短かに中村さんからの説明を見ていただくということで如何でしょうか。

【大通・中村】

同席して頂かなくて結構です。どうぞお帰り下さい。後かたづけも致します。機構の皆さん、ご苦労様でした。

【市・司会】

会場を借りているのは機構でございますのでそう言うわけにも参りません。機構さん、如何でしょうか。

(機構、連合町会長・社協会長で相談)

【市・司会】 今、連合町会長さんと社会福祉協議会の米田会長とご相談させていただいたところ、お二方から会場の後かたづけを始めとして、後のことはお二方が責任を持つということでございます。お二方で責任がとれるということでございますので、それでは本日の機構からの説明会は終わらせていただきます。

----- 機構・大阪市退席 -----

### 3. 育和地域住民による説明

育和地域住民による説明【大通・中村(育和まちづくりの会)】

今日の機構の説明は、全く機構の勝手な説明で、自分たちに都合の悪いことは何も言っていません。これまでの経過とか梅田からやってくる荷物の中身で危険なものもあるので、そう言ったことも先程の機構の説明では全くされていませんでしたが、これから見ていただくスライドでどういふことなのかをわかりやすくまとめられたと思いますので、それを見て下さい。

まちづくりの会ではこれまで色々なことを調べてきまして、百済が今、空いていることも調べまして、それなら貨物の部分をもう少しまとめて小さくして、残りの空いた部分に育和のまちのための施設をつくってはどうかという提案をしようと進めていました。そうしていたところへ、いきなりこういう移転の話がもってこられました。

これからパワーポイントを使って説明します。最後に他に水害の問題についても少し触れたいと考えています。しばらくお時間をください。

これまでの経過

百済と吹田の比較

環境悪化による人体への影響

もしも計画が実行されたら

今後の取組み方についての提案

(別途のパワーポイントに沿って説明された。約50分の説明文言は省略する。以下に 今後の取組み方についての提案についてのやり取りの骨子のみ記す)

【中村】 今後、この問題については対策委員会を設け、この問題の窓口となり、いろんな検討も含めて取り組んでいきたいと考えています。この対策委員会は専門的なことについても市や機構はもちろん、専門家にも手伝ってもらって育和住民の意向を形にしていくよう取り組んでいきたいと思ひます。

【河村】 私は育和まちづくりの会の事務局長を務めさせていただいております河村と申します。今、中村さんから対策委員会設置の提案がありましたが、今日、この場で皆様のご賛同を頂きたいと思ひます。

この対策委員会の設置について、ご賛同頂ける方々、拍手でお願いいたします。

(一同、拍手で同意)

有り難うございます。それでは、今後、この百済貨物に関してはこの対策委員会で取り組んでいくことと致します。

以上

お願い お名前が分からない方のご発言について  
ご連絡お願いいたします。

[メ-ルsnn@u01.gate01.com](mailto:メ-ルsnn@u01.gate01.com)

FAX 6719-0229

例 10ページ5行目杭1山田